



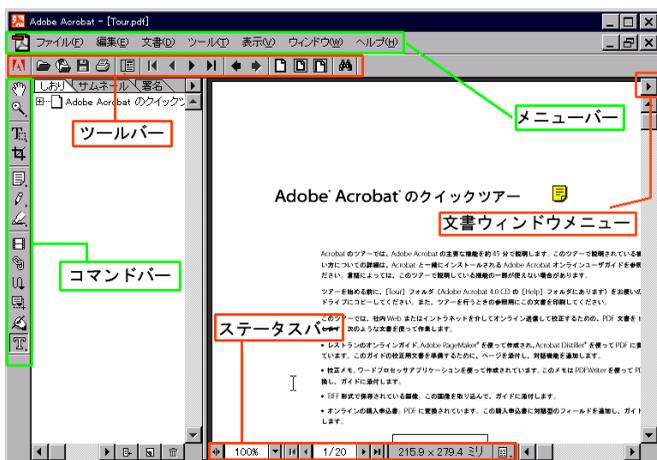
第 1 章

Acrobat4.0 の メニュー

Acrobat4 のメニュー構成

全体画面

Acrobat4の画面構成は図のように、メニューバー、ツールバー、ステータスバー、コマンドバーなどから構成されています。

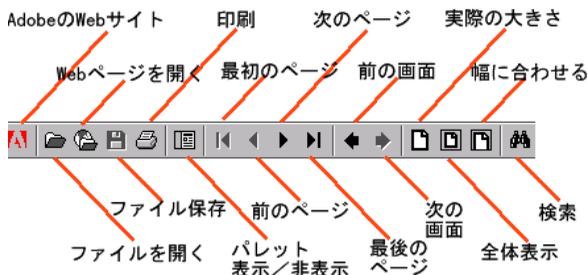


コマンドバー

ファイルの開閉・保存、ページの移動、検索などよく使用するコマンドがボタンとなっています。

- ・ Adobe の Web サイト
クリックすると Adobe の Web サイトが表示される。ただし、インターネットに接続されている必要がある。
- ・ ファイルを開く
表示する文書ファイルを開く。
- ・ Web ページを開く
インターネット（イントラネット）上の Web ページを開く。

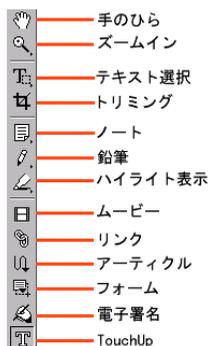
- ・ファイル保存 表示文書を上書き保存する。
- ・印刷 表示文書を印刷する。
- ・パレットの表示 / 非表示 ナビゲーションパレットウィンドウの表示 / 非表示を切り替える。
- ・最初のページ 最初のページを表示する。
- ・前のページ 1つ前のページを表示する。
- ・次のページ 次のページを表示する。
- ・最後のページ 最後のページを表示する。
- ・前の画面 表示履歴に基づき、1つ前の画面に戻る。
- ・次の画面 表示履歴に基づき、1つ後の画面に戻る。
- ・実際の大きさ 文書を実際の大きさで表示する。
- ・全体表示 ウィンドウ内に文書全体が入るように表示する。
- ・幅に合わせる) ウィンドウの横幅に文書の横幅を合わせて表示する。
- ・検索 現在開いている文書内で用語検索を行う。



ツールバー

ツールバーには、文書の表示の変更や編集に使用するコマンドがボタンとして収録されています。

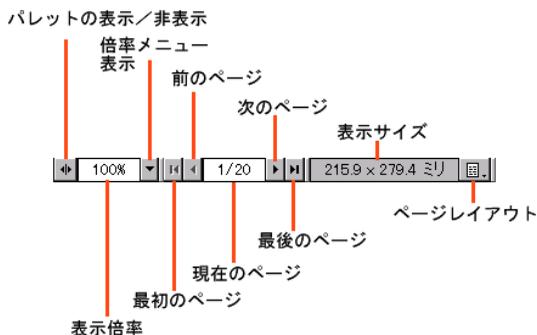
- ・手のひら 表示ページをドラッグしてずらすのに使用する。
- ・ズームイン 文書を拡大する。
- ・テキスト選択 文書内のテキスト部分をドラッグして選択する。
- ・トリミング ページの特定部分を切り抜く。
- ・ノート テキストによる注釈を付ける。
- ・鉛筆 文書内に線を引く。
- ・ハイライト表示 選択したテキストをハイライト表示する。
- ・ムービー ムービーやサウンドを貼り付ける。
- ・アーティクル アーティクル(テキストの接続順序)を設定する。
- ・フォーム ユーザが入力可能なフォームフィールドを作成する。
- ・電子署名 署名フィールドを追加する。
- ・TouchUp 文書内のテキストの編集を行う。



ステータスバー

ステータスバーには、表示文書の倍率やサイズ、ページ番号、ページレイアウトなどのボタンが配置されています。

- ・パレットの表示 / 非表示 ナビゲーションパレットウィンドウの表示 / 非表示を切り替える。
- ・表示倍率 表示倍率を直接入力する。
- ・倍率メニュー表示 表示倍率をリストから選択する。
- ・最初のページ 最初のページを表示する。
- ・前のページ 1つ前のページを表示する。
- ・現在のページ 現在表示されている文書のページ番号及び全体のページ数が表示される。
- ・次のページ 次のページを表示する。
- ・最後のページ 最後のページを表示する。
- ・表示サイズ 表示文書の実際のサイズが表示される。
- ・ページレイアウト リストから文書の表示レイアウト(「単一ページ」、「連続」、「見開きページ」)を選択する。



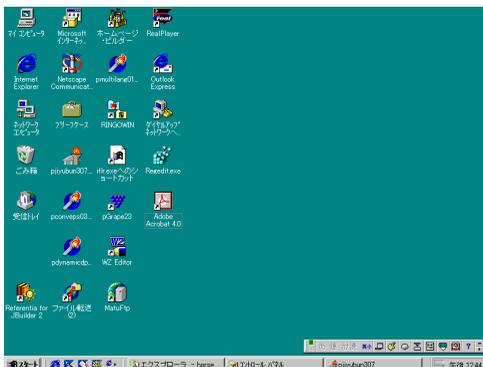
第2章

Acrobat4.0 の 基本操作

Acrobat4.0 を起動するには

アイコンで起動

Acrobat4.0をインストールすると、デスクトップにAcrobat4.0のアイコンが作成されます。このアイコンをダブルクリックすることにより、Acrobat4.0を起動します。



スタートボタンから起動

スタートボタンから起動するには、まず〔スタート〕ボタンをクリックし、〔プログラム〕を選択し、その右に表示される〔Adobe Acrobat 4.0〕を選択し、さらにその右に表示されるリストの中から〔Adobe Acrobat 4.0〕を選択します。



起動中の画面

Acrobat4.0 が起動されると、まず図のような画面が表示されます。



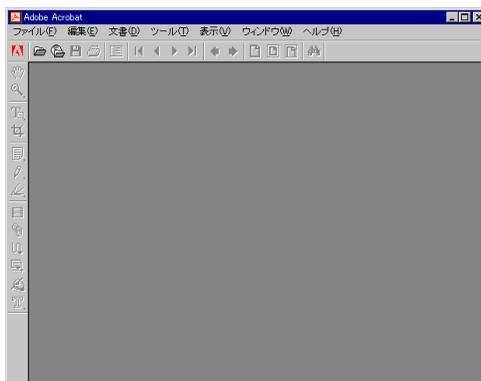
Adobe® Acrobat® 4.0

ヘルプメニューからAcrobat 4.0 のヘルプとツアーにアクセスします。
弊社のWebサイトにアクセスするには、ファイルメニューの[Adobe Online]を選択します。

©1987-1999 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe, Acrobat, およびAcrobatロゴは、Adobe Systems Incorporatedの商標(地帯によっては登録商標)です。

起動後の初期画面

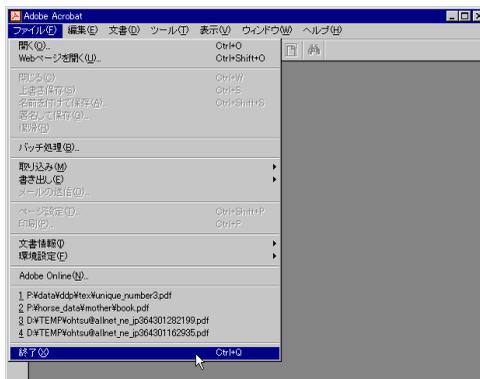
起動後の Acrobat4.0 の初期画面は、図のようになります。まだ文書が選択されていないので、何も表示されていません。



Acrobat4.0 を終了するには

終了

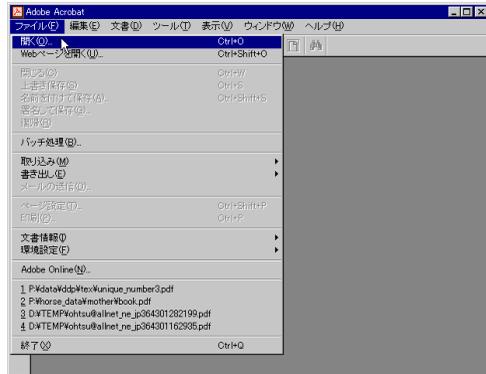
Acrobat4.0 を終了するには、メインメニューの〔ファイル〕をクリックし、続けてそのサブメニューから〔終了〕をクリックします。



文書を開くには

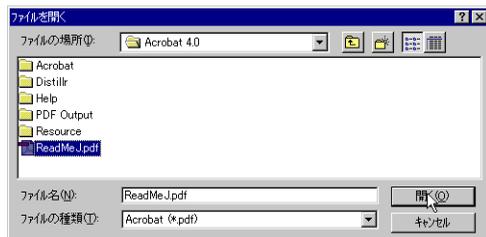
ファイルを開く

PDF文書を開くには、メインメニューの〔ファイル〕をクリックし、続けてそのサブメニューから〔開く〕をクリックします。



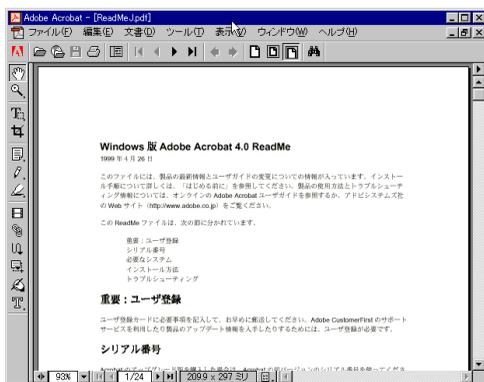
ファイルの選択

ファイルの一覧が表示されるので、開きたいPDFファイルを選択します。選択が終わったら〔開く〕ボタンをクリックします。



画面に表示

選択した PDF 文書が画面
に表示されます。



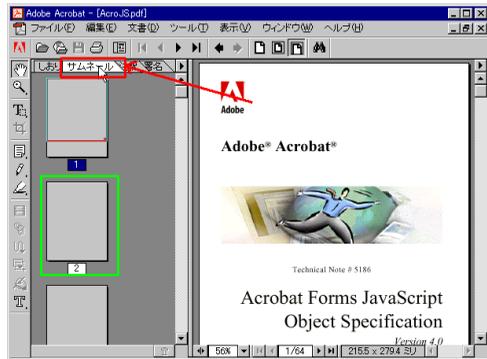
サムネールを表示するには

サムネールとは

〔サムネール〕とは、文書内のそれぞれのページを表す小さなイメージのことです。

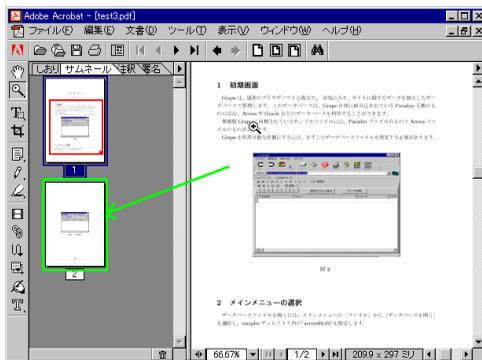
サムネールタブ

〔ナビゲーションパレット〕ウィンドウを開き、サムネールタブをクリックし、〔サムネール〕を表示します。すべての文書にサムネールが添付されているわけではありません。サムネールが添付されていない場合には、図のように空白状態になっています。



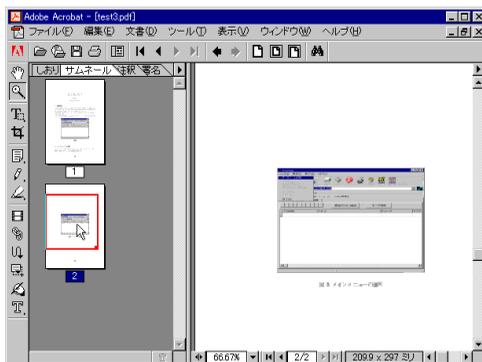
サムネールの表示

サムネールが添付されている場合には、図のように各ページの縮小イメージが表示されます。表示したいページのサムネールをダブルクリックするとそのページが表示されます。またサムネール内に表示されている赤枠は、表示されている部分の位置を示しています。



選択したページの表示

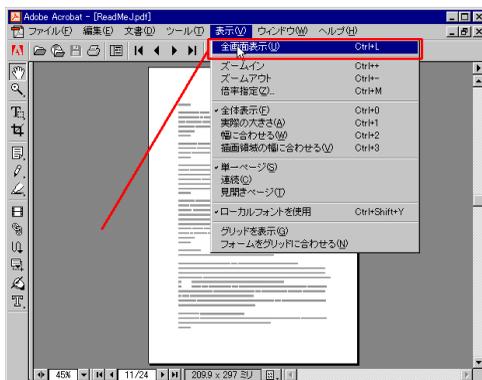
サムネールで選択したページが右側に表示されます。



全画面に表示するには

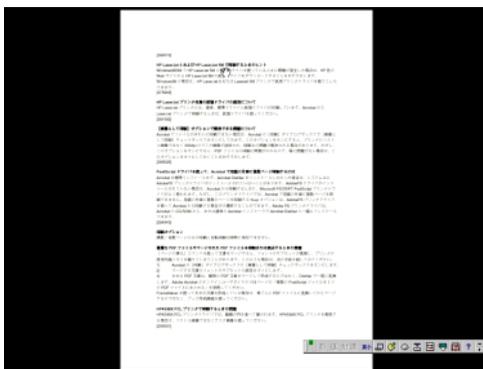
全画面表示の選択

文書のみを画面全体に表示したい場合には、メインメニューの〔表示〕をクリックし、続けてそのサブメニューから〔全画面表示〕をクリックします。



全画面表示された文書

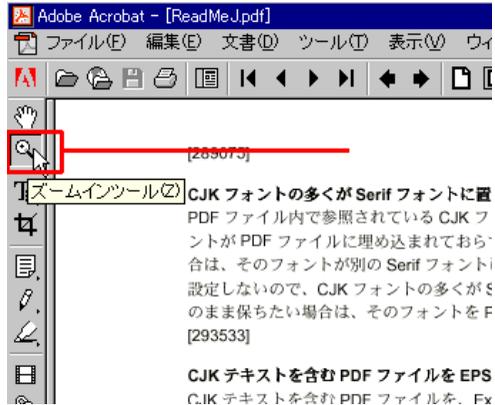
〔Enter〕キーを押すと次のページが表示されます。また〔Shift〕+〔Enter〕キーを押すと前のページが表示されます。またこの状態から元の画面に戻るためには、〔ESC〕キーを押します。



縮小するには

ズームインボタンの選択

表示文書を縮小するには、ツールバーの〔ズームイン〕ボタンをクリックします。するとマウスのポインタが〔+〕の形になります。



ズームアウトボタンへの変更

ここで〔Ctrl〕キーを押すと、マウスのポインタが〔+〕印から〔-〕印に変わります。

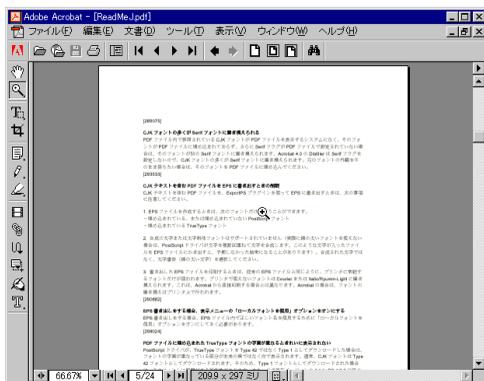
ル内で参照されている CJK フォントが PDF ファイルを表示するファイルに埋め込まれておらず、さらに Serif フラグが PDF フォントが別の Serif フォントに置き換えられます。Acrobat 4.0 以降で、CJK フォントの多くが Serif フォントに置き換えられたい場合は、そのフォントを PDF ファイルに埋め込んでください。

トを含む PDF ファイルを EPS に書き出すときの制限
トを含む PDF ファイルを、ExportPS プラグインを使って EPS として書き出すときは、次のフォントだけを扱うことができません。または埋め込まれていない PostScript フォントで、または TrueType フォント

イルを作成するときは、次のフォントだけを扱うことができません。または埋め込まれていない PostScript フォントで、または TrueType フォント

縮小された文書

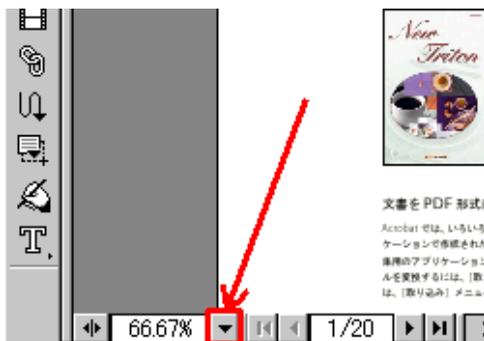
マウスをクリックするたびに表示文書が縮小されていきます。またその縮小率は、ステータスバーに表示されます。



一気に拡大縮小するには

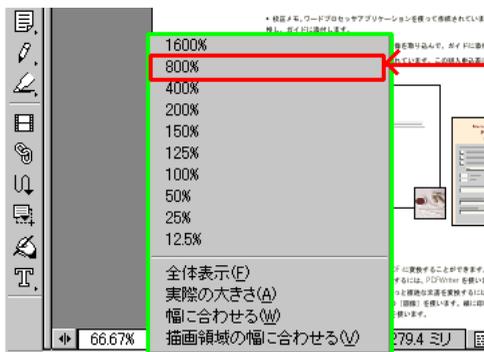
ステータスバーをクリック

ステータスバーにある表示倍率の右横にある〔 〕部分をクリックします。



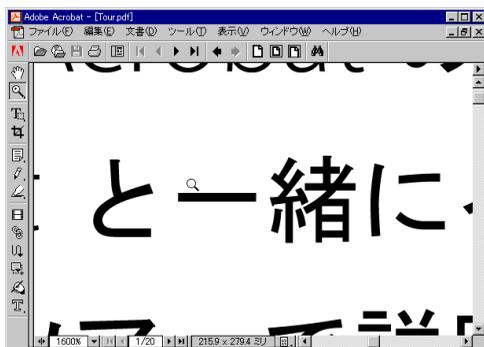
リストから倍率を選択

倍率のリストが表示されるので、適当な倍率をクリックして選択します。



拡大された文書

一気に拡大(縮小)された文書が表示されます。



倍率設定ダイアログボックス

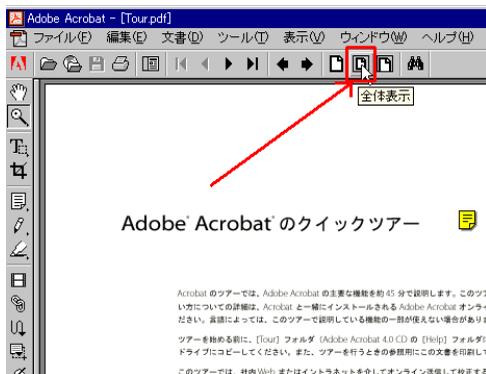
同様の機能は、メインメニューの[表示]をクリックし、続けてそのサブメニューから[倍率設定]をクリックし、倍率設定ダイアログボックスを表示させ、そのリストボックスから選択することによっても実現できます。



文書全体を表示するには

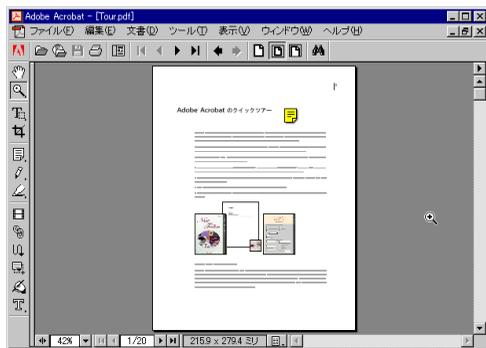
全体表示ボタン

文書全体が表示されるような倍率にするには、ツールバーの〔全体表示〕ボタンをクリックします。



全体表示倍率で表示

文書の全体がウィンドウにおさまるように表示されます。



任意の倍率で表示するには

メインメニューから選択

任意の倍率を設定したい場合には、メインメニューの〔表示〕をクリックし、続けてそのサブメニューから〔倍率指定〕をクリックします。



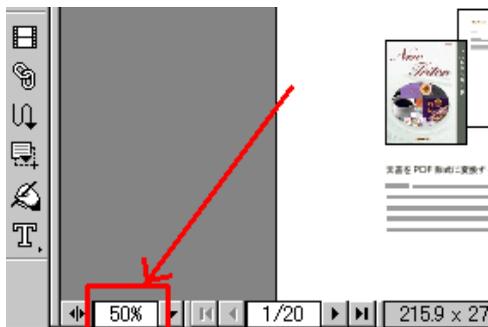
倍率の入力

倍率設定用のダイアログウィンドウが表示されたら、そこに設定したい倍率を入力します。



ステータスバーから入力

ステータスバーで倍率が表示されている部分をクリックし、マウスのポインタが「I」の形になってから、直接倍率を入力することもできます。



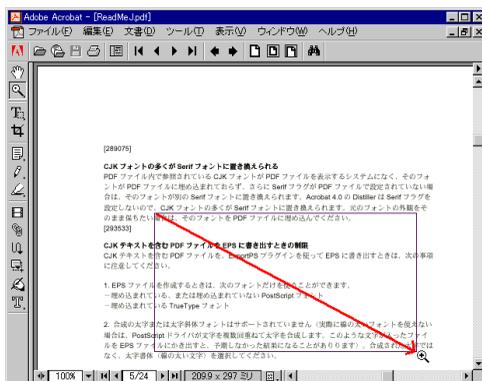
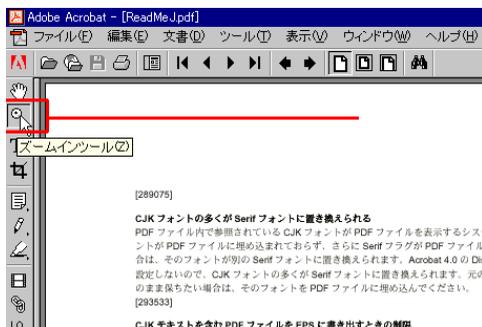
指定範囲を拡大するには

ズームインボタンの選択

表示文書の指定範囲を拡大するには、ツールバーの〔ズームイン〕ボタンをクリックします。するとマウスのポインタが〔+〕の形になります。

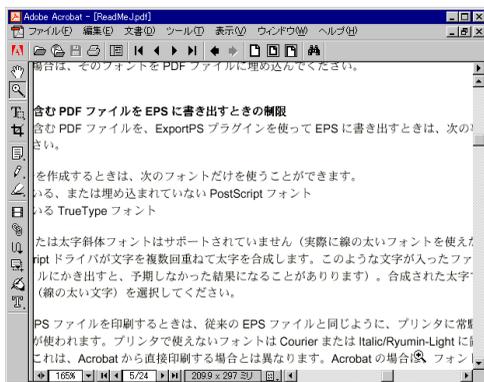
範囲の指定

この状態で拡大したい範囲の左上端にポイントし、右下にマウスをドラッグして四角で囲みます。



拡大した画面

マウスの左ボタンを離すと指定した範囲が画面いっぱいに表示されます。



拡大するには

ズームインボタンの選択

表示文書を拡大するには、ツールバーの〔ズームイン〕ボタンをクリックします。するとマウスのポインタが〔+〕の形になります。



位置の指定

マウスで拡大したい位置をポイントします。

CJK フォントの多くがSerif フォントに置き換えられる

PDF ファイル内で参照されている CJK フォントが PDF ファイルを表示するシントが PDF ファイルに埋め込まれておらず、さらに Serif フォントが PDF ファイルに埋め込まれておらず、さらに Serif フォントが別の Serif フォントに置き換えられます。 Acrobat 4.0 の設定しないので、CJK フォントの多くが Serif フォントに置き換えられます。そのまま保ちたい場合は、そのフォントを PDF ファイルに埋め込んでください。 [293533]

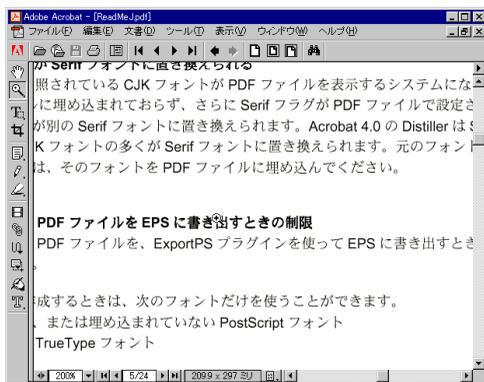
CJK テキストを含む PDF ファイルを EPS に書き出すときの制限

CJK テキストを含む PDF ファイルを、ExportPS プラグインを使って EPS に書き出すときに注意してください。

1. EPS ファイルを作成するときは、次のフォントだけを使うことができます。
 - 埋め込まれている、または埋め込まれていない PostScript フォント
 - 埋め込まれている TrueType フォント

拡大された文書

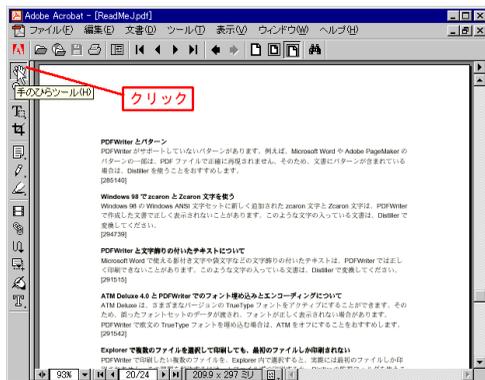
マウスをクリックするたびに表示文書が拡大されていきます。



文書をスクロールさせるには

手のひらツールの利用

表示文書を上下左右にスクロールさせるには、ツールバーの〔手のひら〕を利用します。



手のひらツールでドラッグ

〔手のひら〕ボタンをクリックすると、マウスのポインタが手の形になります。この状態で文書の適当な位置にポイントし、上下左右にドラッグすると、表示されている文書も同様に上下左右に移動します。

キーボードの利用

キーボードの〔PageUp キー〕(または〔Enter キー〕)を押すと、1画面上にスクロールされ、また〔PageDown キー〕(または〔Shift+Enter キー〕)を押すと、1画面下にスクロールします。

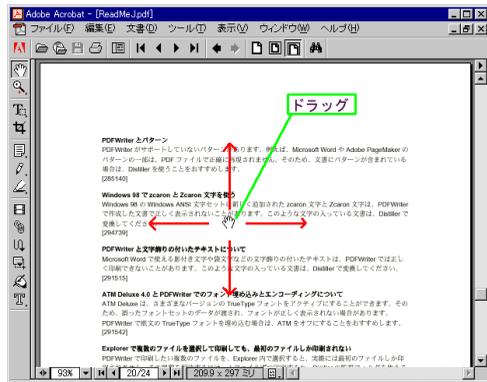
1画面上にスクロール

- PageUp キー
- Enter キー (MacはReturn キー)

1画面下にスクロール

- PageDown キー
- Shift + Enter キー (MacはShift + Return キー)

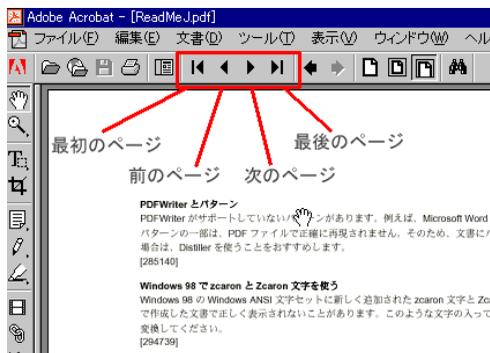
なお、〔PageUp キー〕や〔PageDown キー〕などを連続して押すと改ページされます。



ページを変更するには

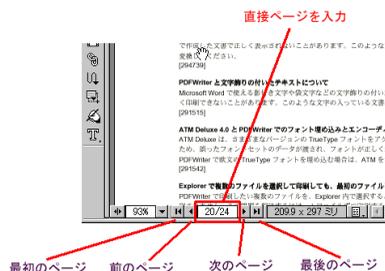
ツールバー

表示文書のページを変更するには、ツールバーのボタンを利用するのが便利です。



ステータスバー

最下段のステータスバーを利用して、表示文書のページを変更する方法もあります。ステータスバーでは、ボタンによるページ変更のほか、直接ページ番号を入力する方法もあります。



矢印キーの利用

キーボードの矢印キーを利用して、表示文書のページを変更する方法もあります。キーボードの〔左矢印キー〕を押すと、前のページが表示され、〔右矢印キー〕を押すと、次のページが表示されます。

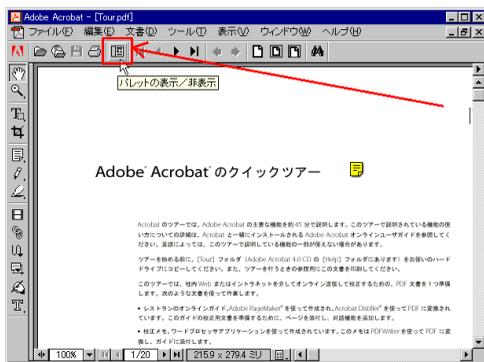
特定の位置（しおり）に ジャンプするには

しおりとは

〔しおり〕とは、文書内の特定位置を示すマークのことです。しおりには、該当個所のページ番号、そのページにおける位置、倍率レベルなどの情報が入っています。

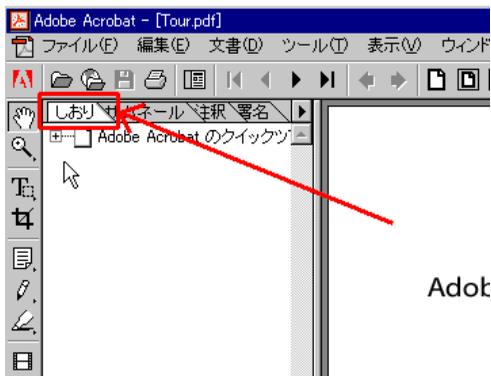
パレットの表示

コマンドバーにある〔パレット〕ボタンをクリックし、〔ナビゲーションパレット〕ウィンドウを開きます。



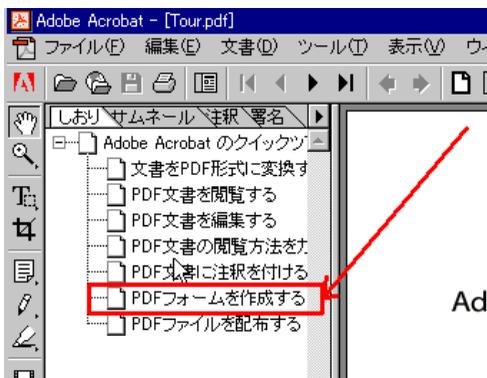
しおりタブ

〔ナビゲーションパレット〕ウィンドウを開いたら、〔しおり〕タブをクリックし、しおりを表示します。このしおりはディレクトリのように階層構造を作ることができます。下位にしおりがある場合には、図のように〔+〕が表示されます。これをクリックすると下位のしおりが表示されます。



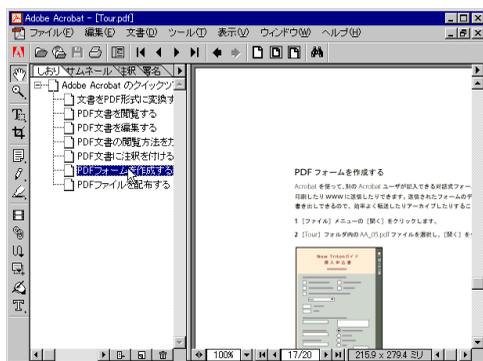
しおりの選択

表示したい内容のしおりをクリックします。



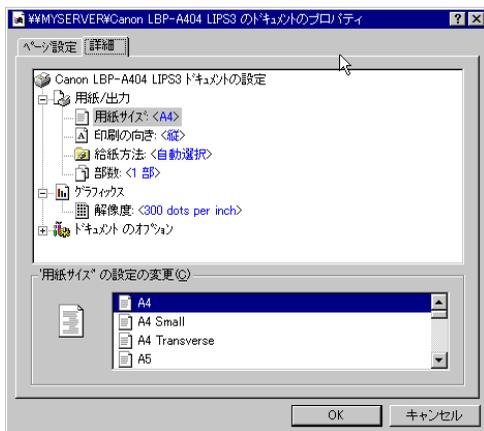
選択したページの表示

選択したページが画面に表示されます。



プリンタのプロパティ

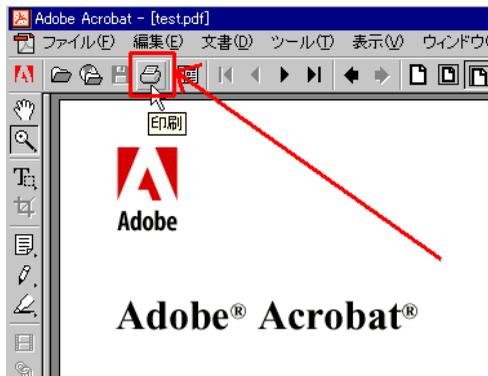
これは Canon のレーザープリンタを選択した場合に表示される画面です。



表示文書を印刷するには

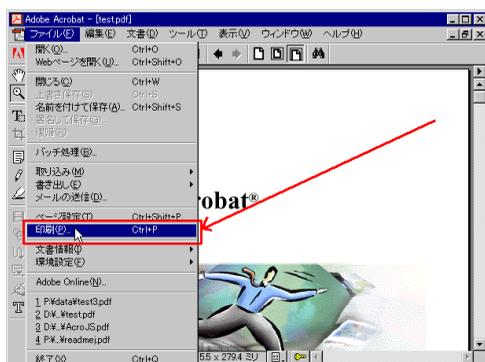
印刷ボタンの選択

表示文書を印刷するには、コマンドバーにある〔印刷〕ボタンをクリックします。



メインメニューから選択

メインメニューから選択することも可能です。メインメニューの〔ファイル〕をクリックし、続けてそのサブメニューから〔印刷〕を選択します。



印刷ダイアログ

印刷ダイアログが表示されるので、ここで印刷するページなどを設定し、[OK] ボタンをクリックします。すると印刷が開始されます。

